

	<p>伊豆市立中伊豆中学校 学校便り</p> <h1 style="margin: 0;">中 中 通 信</h1> <p>校訓 努力は必ず報われる</p>	<h2 style="margin: 0;">臨時号</h2> <p>令和5年11月2日 文責：萩島 禎幸</p>
---	--	---

全国学力学習状況調査の結果から

4月に3年生を対象に行われました「全国学力学習状況調査」の結果が出ましたので、お知らせします。この調査は、学力調査と生徒の意欲や生活状況を確認する質問紙（学習状況）調査があります。各調査とも、正答率のみをもって評価するのではなく、学習状況等を分析し、今後の学習指導に生かすための資料とします。

この質問紙（学習状況）調査は、学習の意欲、一日の勉強時間や読書時間などの生活状況、地域の人との関わり等の質問項目があり、生徒の学校・家庭・地域での生活状況が、学力にどう影響しているかを分析し今後に生かす目的があります。以下が結果と考察になっています。

学力調査より

以下の表中、本校と全国平均と比べ

◎：全国より良い ○：全国と同程度 △：全国より低い で表記しています。

「国語」

学習指導要領の内容と評価の観点		平均正答率
技 能 識	・言葉の特徴や使い方に関する事項	◎
	・情報の扱い方に関する事項	○
	・我が国の言語文化に関する事項	△
表 判 思 現 断 考 力 力 力	A 話すこと・聞くこと	○
	B 書くこと	○
	C 読むこと	△

◎事象や行為、心情を表す語句について理解している。
 ◎文脈に即して漢字を正しく書くことができている。
 △歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが苦手。
 △文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることが苦手。

▶文章理解を苦手としている傾向があることから、日頃から読書する習慣を継続することが望まれます。生徒質問紙ではよい傾向にはあるものの、自分と照らし合わせたり、考えを広げたりしながら読書するよう勧めていきたいと思ます。

「数学」

学習指導要領の内容と評価の観点		平均正答率
要 学 領 指 の 領 導 域	A 数と式	△
	B 図形	△
	C 関数	○
	D データの活用	△
観 評 点 価 の	知識・技能	△
	思考・判断・表現	△

◎累積度数の意味を理解している。
 ◎事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる。
 △複数の集団のデータの分布の傾向を比較し、判断の理由を説明することが苦手。
 △与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることが苦手。

▶表やグラフからのデータ分析を苦手としている傾向から、まずは基礎的な四則計算、数学的用語を確実に理解することが大切です。また数学に限らず、各教科でもデータ分析とその読み取りができるよう支援していきたいと思ます。

「英語」

学習指導要領の内容と評価の観点		平均正答率
の 導 学 領 要 領 域 指	・聞くこと	△
	・読むこと	○
	・書くこと	○
観 評 点 価 の	知識・技能	○
	思考・判断・表現	△

◎「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができている。
 ◎短い文章の要点を捉えることができている。
 △日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることが苦手。

▶必要な情報を聞き取るために、話されることの全てを聞き取るのではなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、自分が必要とする情報は何かを把握できるよう支援していきたいと思ます。英語の学習に限らず他教科や日常生活に必要なスキルとして身につくようにしていきたいと思ます。

以下の表中、本校と全国平均と比べ

生徒質問紙より

◎：全国より良い ○：全国と同程度 △：全国より低い

●家庭生活に関する質問	
朝食を毎日食べていますか。	◎
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	△
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	◎
●自分自身に関する質問	
自分には、よいところがあると思いますか。	○
将来の夢や目標を持っていますか。	○
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	△
●家庭学習に関する質問	
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	△
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。	○ *1時間以上で比較
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。	◎ *30分以上で比較
読書は好きですか。	○
●地域とのかかわりに関する質問	
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	◎
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	△
●学習に関する質問	
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。	△
国語の勉強は大切だと思いますか。	○
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	○
数学の勉強は大切だと思いますか。	△
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	△
英語の勉強は大切だと思いますか。	◎
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	◎
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	◎

肯定的な意見(例:4段階で3以上)の割合を全国平均と比較しています。

- ▶ 家庭生活に関する質問からは、毎朝決まった時間に起きることで、朝食を摂取できていることがわかります。ただし、寝る時刻についてはばらつきがあるということから、規則正しい生活時間で過ごすことができるようにしたいものです。文部科学省が推進する「早寝早起き朝ごはん」の運動は、生活習慣づくりの一定の成果を認められており、適切な運動、食事、睡眠が必要であることの科学的根拠に加えて、この「全国学力・学習状況調査」の結果からも朝食と学力との関連も示されていることから、学力向上の面からも生活習慣づくりに取り組む必要があります。これからも、生活習慣の大切さを生徒に呼びかけていきます。
- ▶ 自分自身に関する質問からは、自己肯定感の割合が全国と比較してやや低い状況にあります。自己肯定感とは、自ら高くすることも低くすることもできます。高めるために①新しいことにチャレンジする。そのために、自分ができたことを肯定的に評価することです。②自分を高めようと努力する。そのために、成功体験を増やしていくことです。③ミスを引きずらない。そのために、ミスの事実を受け入れても、前向きな気持ちに切り替えることです。④プラス思考で物事を受け入れる。そのために、自分がどのように行動したらよいかを、成功体験を通じて受け入れることです。⑤得意分野を知る。自分の得意分野を知れば、当然成功する可能性も高くなるため、成功体験も増えてきます。このように、正(プラス)のスパイラルで、自己肯定感を高められるように、自信がもてるように支援していきたいと思います。
- ▶ 地域とのかかわりに関する質問からは、地域の行事には参加しているが、今後地域をよくしようというところまではあまり考えが至っていないことがわかります。全国的な少子高齢化による人口減少は本市でも顕著な傾向としてあらわれています。町や学校の統廃合により、「地域の中の学校」という感が薄れてきている現在においても、子供たちは地域の宝であり、地域を託すべき人材です。学校では、総合的な学習の時間を通じて、地域と関連させた学習に取り組んでいます。家庭・地域・学校が三位一体となって、子供たちの地域愛を育てていきたいものです。
- ▶ 家庭学習及び学習に関する質問からは、教科によって意識のばらつきはあるものの、生徒は肯定的に捉えているようです。ただ今から「役立つ」「役立たない」を決めつけるのではなく、幸せな自分になることをゴールとして、今できることを、自分でやる、そして学び続けることが大切です。「自分自身を磨く」ことが勉強です。生徒のモチベーションを高められるよう今後も励ましていきたいと思います。